

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用お客様の信頼と安心を第一にします。 ・障がいのある方々のくらしをお手伝いします。 ・やる気と工夫で福祉の仕事を広げます。 					
支援方針	(単独)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に見通しを持ち、身の回りの自分のことを自分でする意欲を育てます。 ・集団生活の中で簡単な決まりを知り職員や友達との関係を広げます。 ・遊びを通して、情緒の安定を図り、物・人への興味関心、創造性を育てます。 ・全身を使って遊び、基本的運動能力や感覚を育てます。 ・保護者の方々の情報交換の場、および交流の場を提供します。 ・見てわかる教具、興味を高める教具を工夫し、お子様が「わかった」「できた」「もう1回やりたい」という気持ちを育てます。 					
	(親子)	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様と保護者の方が一緒に通園し、小集団の中で遊びを通して運動やコミュニケーションの基礎的な力を育てていきます。 ・保護者と職員で「目標」を立て、幼児に適した遊び、また困ったことへの対処の仕方等について一緒に考えていきます。 ・保護者の方々の情報交換の場、および交流の場を提供します。 ・見てわかる教具、興味を高める教具を工夫し、お子様が「わかった」「できた」「もう1回やりたい」という気持ちを育てます。 					
営業時間		8 時	45 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり (なし)
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの安定を図り健康に過ごします。保護者と一緒に健康状態などについて情報を共有します。 ・食事・排泄・衣服の着脱等個々の状態を把握し、日常生活動作を身につけられるように支援を行います。 ・お子さまの健康状態の把握や感染症対策をしながら、継続した通園ができるようにします。 <p>3 歳児：基本的な生活習慣（食事、排泄、更衣等）が身につくように方法ややり方を工夫し、丁寧に伝えます。 4 歳児：少しずつ手伝いを減らしていき、自分でできる部分を増やしていきながら、自分でしようとする気持ちを育てます。 5 歳児：自分でできた時にたくさん褒めて自信につなげ、身辺自立の土台を育てます。</p>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具・教具の工夫をし、お子さまが意欲的に身体を動かす機会を作ります。 ・運動遊びや遊具遊び、製作や手指遊びを通して姿勢、運動、動作の基本的技能の向上を目指します。 ・一人ひとりの感覚の特性を踏まえて、感触（粘土やスライム等）遊び等の遊びを提供します。 <p>3 歳児：運動や遊びの中で体を動かす機会を設け、いろいろな体の動きが経験できるようにします。 4 歳児：いろいろな運動遊びを保育に取り入れて、ボディイメージや運動機能の発達を図ります。 5 歳児：自由遊びや設定保育の中で、保育者や友だちと一緒に身体を動かすことを楽しむ機会を作ります。</p>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「見る・聞く・触る」等の五感を意識した遊びを通して環境から情報を修得する機会を多く設けます。 ・見てわかる紙芝居や歌紙芝居を通してわかって楽しむ環境を提供します。 ・興味を高める教具を工夫し、「色・大きさ・形」「始まりと終わりなど時間を意識した活動」等認知・行動の手がかりとなるような体験活動を通して、概念を形成していきます。 ・一人ひとりの認知の特性に合わせて、情報をわかりやすく工夫し、自発的な行動につなげられるように支援します。 ・特性から生じる困り感に対して個々に合わせた支援を行うことで生活全般の環境を整えていきます。 <p>3 歳児：毎日の流れを同じにして繰り返し経験できるようにしたり、集団生活の見通しを持ちやすくします。 4 歳児：生活や遊びの中で、ルールや順番を守ることを繰り返し経験できるようにします。 5 歳児：必要な決まりごとを分かりやすく伝えていき、見通しをもって集団活動を楽しめるようにします。</p>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」「もう一度やりたい」という気持ちを引き出せるような手遊びや歌、絵本等の遊びを提供し、「自分の気持ちを伝えたい」というコミュニケーション意欲を育てます。 ・相手を意識したコミュニケーションのやり方を大人が示し、学ぶ機会をつくります。 ・指差しや身振り、実物や写真カード・絵カード等を用いた表出方法を活用し表現方法を引き出します。 ・伝えたいと思えるもの・人などの環境作りをし、理解や表出の発達を促します。 <p>3 歳児：自由遊びや設定保育を通して好きな遊びや活動を見つけていき、保育者に要求を伝える意欲を育てます。 4 歳児：伝えやすいコミュニケーション手段の獲得を援助し、保育者や友だちに伝える機会を設けていきます。 5 歳児：生活や遊びの中で職員や友だちと楽しくやりとりをする機会を作り、コミュニケーションの意欲を育てていきます。</p>					

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 認められる経験を増やし、自信をもって周囲の人や友だちなど身近な人と関わることができるように促します。 自由遊びを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築けるよう環境を設定します。 集まりや簡単なルールのある遊び等の体験を通して集団参加を促し、社会性の発達を促す支援を行います。 大人が気持ちを汲み取り、代弁することにより、子どもの気持ちや情動の調整を一緒に行います。 	<p>3歳児：好きな遊びを通して、保育者が意図的に遊びを共有し人と遊ぶ楽しさを知るきっかけを作っていきます。</p> <p>4歳児：生活や遊びの中で、保育者が間に入りながら、友達と一緒に遊んだり関わりを持ったりする経験につなげていきます。</p> <p>5歳児：簡単なルールのある遊びを保育に取り入れ、保育者や友だちとルールを守って楽しく遊ぶ機会を設けます。</p>	
家族支援	単独	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談の機会や連絡帳の活用等を通して、情報を共有し、具体的な支援内容について協議・決定します。 学習会を実施し、お子さまとの関わり方や福祉制度、就学等に関する情報提供を行います。また、保護者同士の交流の場を設けます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 園と保護者の希望に応じ、本体施設の心身障がい福祉センターの協力のもと、園連携や訪問支援を行います。 5歳児：保護者と協力して、就学先の学校等に向けたサポートブックを作成します。
地域支援・地域連携	親子	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援場面や面談等の機会を通じて、家族が安心して子育てができるよう、相談支援を行います。 学習会を実施し、お子さまとの関わり方や福祉制度、就学等に関する情報提供を行います。また、保護者同士の交流の場を設けます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 心身障がい福祉センター協力のもと、定期的にOJTを実施するとともに、療育や障がいに関する専門的な研修、メンタルヘルスや虐待防止、接遇などの各種研修を計画的に実施し、職員の質の向上を図ります。 その他療育に関するスーパーバイズを受け、療育の質の向上に努めます。
主な行事等		新規契約時オリエンテーション、個別面談、各種学習会やクラス懇談（「就学について」、「先輩保護者の話」、「余暇活動について」、「手指操作について」など）、避難訓練、お別れ会などを行っています。		